木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業
概要説明（福岡県北九州市）

１．事業概要

事業名	北九州市竹バイオマス資源の持続的活用による熱利用施設導入計画策定事業
検討対象設備等	竹チップと木質チップ混焼の小規模バイオマスボイラ
平成３０年度 補助金交付予定額	５，０２２，０００円
事業内容	航空写真及び地形データ、森林簿、森林地理情報等から竹林における「資源量調査」「ゾーニング」等の策定を行い、中長期にわたる「伐採計画・路網計画」の策定を行う。 また、「伐採計画・路網計画」に基づいて関係事業者に対しヒアリング調査を行い、具体的な実行体制の構築や検討を並行して行うことで安定した燃料供給システム構築に目指す。 上記検討課題や、更なる未利用木質バイオマス活用の機運を醸成させ、上記検討課題に取り組み、具体的な民間事業者による設備導入に繋げるため、竹をはじめとするバイオマスの実務者会議を継続開催する。

２．設備導入予定等

設備導入時期	検討・調整を踏まえて、市内及び近隣地域における設備導入に繋げるため、平成３１年度～３３年度中の民間事業者による導入を目指す。（事業化検討、協定、建設着手、運転開始等）
CO2削減効果	木質バイオマスボイラー単体 （１）A重油比較　２０３t/年 （２）灯油比較　１９４t/年
生物多様性保全効果	バイオマスボイラが設置されることにより、継続的な竹林管理や放置竹林対策が進むことが期待され、伐採計画を促進することで周辺森林への竹侵食防止が図られる。竹林が適正な状態で保全されることにより、森林の持つ水源かん養機能や土砂災害防止などの多面的機能が発揮される。